

2027 年（令和9年）度

学 生 募 集 要 項

言 語 文 化 学 部

国 際 社 会 学 部

【私費外国人留学生選抜】



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

出願期間

2026 年（令和8年）10月8日（木）～10月16日（金）

目 次

東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー	3
I. 趣旨	4
II. 募集人員	4
III. 出願資格等	6
IV. 出願期間	7
V. 出願手続	7
VI. 受験票	11
VII. 選抜方法	12
VIII. 合格者発表	13
IX. 入学手続等	13
X. 障害等のある志願者の事前相談について	14
XI. 個人情報の利用について	14
XII. 出願書類記入上の注意	15

○ 東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー

① 教育の理念

東京外国語大学の理念は、世界の言語と、それを基底とする文化・社会に関する教育を実施し、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身に付け、さまざまな文化的背景をもつ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成することです。

② 求める学生像

東京外国語大学では、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超越的な視点から扱う諸学問分野の基礎を学ぶことができます。

国内外の高等学校等において、総合的で確かな基礎学力、ものごとに対する思考力・判断力・表現力、そして主体的に学ぶ態度を身に付けたうえで、本学の理念に共感し、さまざまな文化的背景をもつ人々と共に働き、地球的な課題に取り組む意欲にあふれる人を受け入れます。

【言語文化学部】

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、国内外において異なる言語間・文化間の架け橋となって活躍する国際教養人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ○出版、広告、観光などに関わる職業 | ○文化事業の企画に関わる職業 |
| ○新聞社、放送局などのマスメディア | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○通訳・翻訳に関わる職業 | ○英語など外国語教育に関わる職業 |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | |

【国際社会学部】

世界の国や地域の歴史・政治・経済・社会に関心をもち、多様なビジネスの分野はもちろん、国際社会と協働して現代世界が抱える紛争・災害、環境問題、経済格差・貧困等の問題解決に携わることによって、人間社会に貢献する国際職業人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ○外交官などの国家公務員、及び地方公務員 | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○国際機関や国際的に活動する NGO | ○新聞社、放送局などのマスメディア |
| ○社会科・地理歴史科の中学・高校教員 | ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 |

③ 選抜方法の方針（私費外国人留学生選抜）

- ・言語文化学部、国際社会学部で実施します。
- ・本試験は、外国の学校等で教育を受け、すでに高度な日本語運用能力と日本についての基礎知識を備えた外国の国籍をもつ学生（日本国の永住許可を得ていないもの）を対象とします。
- ・出願に際し、日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語及び総合科目）の成績が必要です。日本語や日本について、十分な知識を備えているかを確認します。
- ・提出書類には、英語の資格・検定試験の成績が含まれます。本学は、学生に高度な英語力を備えていることを求めているので、その力を資格・検定試験の成績により証明することを求めます。
- ・言語文化学部では、その場で与えられた課題について小論文を書きます。面接では、大学入学志望理由書、活動報告書などをもとにした質疑を行います。これにより、本学での学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力を確認します。
- ・国際社会学部では、あらかじめ指定された課題図書について小論文を書きます。課題図書の著者の主張を踏まえ自分の考えを論理的に展開することができるかを確認します。面接では、大学入学志望理由書、活動報告書などをもとにした質疑を行います。これにより、本学での学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力を確認します。

I. 趣旨

言語文化学部と国際社会学部の「私費外国人留学生選抜」では、開かれた大学のあり方を求める立場から、国際的経験を積んだ外国人を対象として、日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語及び総合科目）、英語の資格・検定試験のスコア等の出願書類、及び小論文・面接等により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に評価し、合格者を決定する。

【注意事項】

入学後の取り扱いは、一般選抜など他の入学者選抜により入学した者と同様である。

日本語や日本に関することを学びたい者は、国際日本学部の一般選抜又は日本留学試験利用選抜に出願すること。

II. 募集人員

1. 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	入学後の専攻地域	募集人員
英語	北西ヨーロッパ・北アメリカ	若干名
ドイツ語	中央ヨーロッパ	
ポーランド語		
チェコ語		
フランス語	西南ヨーロッパ	
イタリア語		
スペイン語	イベリア・ラテンアメリカ	
ポルトガル語		
ロシア語	ロシア	
ロシア語及びウズベク語	中央アジア	
モンゴル語		
中国語	東アジア	
朝鮮語		
インドネシア語	東南アジア	
マレーシア語		
フィリピン語		
タイ語		
ラオス語		
ベトナム語		
カンボジア語		
ビルマ語		
ウルドゥー語	南アジア	
ヒンディー語		
ベンガル語		
アラビア語	中東	
ペルシア語		
トルコ語		

（注1）合格者（入学手続者）の数は、言語文化学部前期日程募集人員の内数である。

2. 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	入学後の専攻言語	募集人員
北西ヨーロッパ／北アメリカ	英語	若干名
中央ヨーロッパ	ドイツ語	
	ポーランド語	
	チェコ語	
西南ヨーロッパ	フランス語	
	イタリア語	
イベリア／ラテンアメリカ	スペイン語	
	ポルトガル語	
ロシア	ロシア語	
中央アジア	ロシア語及びウズベク語	
	モンゴル語	
東アジア	中国語	
	朝鮮語	
東南アジア第1	インドネシア語	
	マレーシア語	
	フィリピン語	
東南アジア第2	タイ語	
	ラオス語	
	ベトナム語	
	カンボジア語	
	ビルマ語	
南アジア	ウルドゥー語	
	ヒンディー語	
	ベンガル語	
中東	アラビア語	
	ペルシア語	
	トルコ語	
アフリカ	英語	
オセアニア	英語	

（注1）「入学後の専攻言語」が複数ある「募集単位（専攻地域）」を希望する志願者は、出願時に希望する「入学後の専攻言語」を1つ選択すること。

（注2）合格者（入学手続者）の数は、国際社会学部前期日程募集人員の内数である。

（注3）「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

Ⅲ. 出願資格等

日本国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を得ていないもので、下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしているもの。

1. 基礎資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに修了見込みの者（注 1）、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（注 2）
- (2) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、（フランス）バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレアのいずれかを、日本国外に所在する外国の中等教育機関において取得した者及び 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに取得見込みの者
- (3) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia（NCA CASI、NWAC、SACS CASI）、COBIS）の認定を受けた教育施設（日本国外に所在するものに限る）の 12 年の課程を修了した者及び 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに修了見込みの者（注 1）
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記 (1)～(3) と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（注 3）

（注 1）大学入学資格として少なくとも 12 年の教育課程を基本とする国において、飛び級等により通算 12 年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。

（注 2）「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、

- ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者で、18 歳に達したものと及び 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者を含む）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに修了見込みのもの
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までに修了見込みの者

（注 3）(4) の対象となる者は、(1)～(3) のいずれにも該当しない者である。これにより出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要となるので、次の要領にて申請すること。

1. 申請期限：2026 年（令和 8 年）9 月 11 日（金）本学必着
2. 申請方法：日本国内から申請する場合は（簡易）書留郵便、日本国外から申請する場合は EMS・DHL 等の、本学までの配達状況が追跡できるものを利用して申請すること。なお、封筒の表面に「入学資格認定申請書類在中」と朱書きすること。
3. 提出書類：
 - ① 入学資格認定申請書（本学所定様式。本学ホームページからダウンロード）
（<https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/sinseisyo.pdf>）
 - ② 高等学校課程に相当する課程等における学習歴を証明する書類（成績証明書でも可）、あるいは、社会での実務経験や取得した資格を有する者は、その実務経験や取得した資格を証明する書類（学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出すること）
 - ③ レターパックライト（本学から入学資格審査結果の通知を送付する際に使用する）
 - ※ レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。
 - ※ 申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。申請者が日本国外に在住している場合は、日本国内の代理人の宛先を記入し、空いている部分に志願者本人の氏名を括弧書きすること。
 - ※ 「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。
4. 審査結果：入学資格審査結果については、上記③にて通知する。

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 日本学生支援機構が実施する 2025 年（令和 7 年）6 月、11 月又は 2026 年（令和 8 年）6 月の日本留学試験（日本語及び総合科目）を受験していること。なお、日本留学試験（総合科目）の出題言語は自由選択とする。
上記のうち、複数回受験した場合は、いずれか 1 つの回を各自で選択し、その受験票の写しを提出すること。
- (2) 英語 4 技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W（※）のいずれかを受験し、出願時にそのスコアを提出できること。
※英語 4 技能の資格・検定試験のスコアとして TOEIC L&R/TOEIC S&W を提出する場合、L&R 及び S&W の両方のスコアを提出できること。
- (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）において大学入学に支障のない在留資格を有すること又は有する見込みであること。

3. その他

私費外国人留学生選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。

IV. 出願期間

2026 年（令和 8 年）10 月 8 日（木）から 10 月 16 日（金）まで

出願にあたっては、以下のすべての手続きを Web 出願専用サイト上で期間内に完了させる必要がある。

- (1) Web 出願専用サイトでの出願情報の登録
- (2) Web 出願専用サイトでの各種出願書類のアップロード
- (3) Web 出願専用サイトでの入学検定料（第 1 次選考検定料）の支払い

なお、Web 出願専用サイトでの登録・検定料支払方法等については本学ホームページの以下のページに別途掲載する案内を参照すること。

<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/intl-students-1.html>

※7 月に公開した「入学者選抜要項」では、Web 登録後に「書類の郵送」が必要としていましたが、出願書類の郵送は不要（なし）になりました。

V. 出願手続

1. 出願書類等の事前準備

次ページの「5. 出願書類」を確認の上、必要書類の手配及び作成を事前に進めること。また、原本が紙媒体の出願書類についても、他の提出必要書類と同様に PDF 化したファイルを Web 出願専用サイトへのアップロードに使用すること。

なお、本選抜の最終合格者は、Web 出願専用サイトにアップロードした PDF ファイルの紙媒体（原本）を入学手続き時に提出する必要があるため、紙媒体（原本）は出願完了後も保管しておくこと。

2. Web 出願専用サイトでの出願情報登録及び書類のアップロード

本学ホームページに別途掲載する、Web 出願専用サイトでの登録・検定料支払方法等についての案内を確認の上、Web 出願専用サイトでの出願情報の登録及び出願書類のアップロードを行うこと。

3. Web 出願専用サイトでの第1次選考検定料の支払

Web 出願専用サイト上の案内に従い、第1次選考検定料（4,000 円）の支払い手続きを完了させること。

第1次選考検定料の支払い手続き完了後、出願情報と第1次選考検定料の支払い情報が記載された「入学志願票」のダウンロードが可能となるため、保存しておくこと。

なお、第1次選考検定料の支払い手続きが完了した出願者より、出願内容に不備等がないことを大学側で確認したのち、出願者のアカウントステータスを「出願申込完了」に変更する。自身のアカウントステータスは Web 出願専用サイトのマイページから確認することができる。

4. Web 出願専用サイトの確認およびメールアドレス登録に関する注意事項

出願後の大学からの連絡（書類の不備連絡、確認事項等）は、すべて「Web 出願専用サイトのマイページ」または「アカウント登録時に使用されたメールアドレス」宛に行うため、定期的に Web 出願専用サイトのマイページおよび登録したメールアドレスの受信フォルダ（迷惑メールフォルダ等を含む）を確認し、大学から書類不備等の問い合わせがあった場合には速やかに対応すること。

なお、Web 出願専用サイトのマイページ登録時に使用するメールアドレスは以下のものを避けること。

使用不可・非推奨のメールアドレス：

- ・海外の特定ドメインアドレス（例：@qq.com、@163.com、@126.com 等）
- ・セキュリティフィルター等により、日本からのメール受発信に遅延・不達が生じる可能性のあるアドレス

※推奨のメールアドレス：

- ・Gmail、Outlook、Yahoo!メール等、国際的に安定して受信できる PC 用メールアドレス

登録されたメールアドレスの不備、メールの受信拒否設定、確認不足等による大学からの連絡の未読、または対応が遅れたことによって志願者に生じた不利益（出願の不受理、受験資格の失効等）について、本学は一切の責任を負わない。

5. 出願書類

次の表のとおり準備すること。なお、★が付いた書類は、本学ホームページ（<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/intl-students-1.html>）から書式をダウンロードし、使用すること。また、記入の際は、本要項 15 頁「XII. 出願書類記入上の注意」を熟読のうえ、正確に記入すること。提出必要書類はすべて PDF 化し、Web 出願専用サイトにアップロードすること。PDF 形式に変換する際は、PC・スマートフォン等の内蔵カメラで撮影した画像ファイルではなく、原本をスキャナー等により読み取り、PDF 形式に変換したデータをアップロードすること。

書類等	摘要
顔 写 真 デ ー タ	Web 出願専用サイトにアップロードすること。 上半身・正面・無帽の写真を提出すること。
入 学 志 願 票 提出不要 各自で保管しておくこと	Web 出願専用サイトで出願情報の登録及び出願書類のアップロード完了後、Web 出願専用サイトから出力が可能となる、出願者本人が登録した出願情報等が記載された帳票である。以下の通り出願手続きの際に2度出力するため、注意すること。 【入学志願票（サンプル）】 出願情報の登録・出願書類のアップロードの完了後、第1次選考検定料の支払い手続き前に出力される。登録内容に誤りが無いことを【入学志願票（サンプル）】で確認した上で、第1次選考検定料の支払い手続きを進めること。 【入学志願票】 第1次選考検定料の支払い手続き完了後、出願者本人が登録した出願情報等に加え、第1次選考検定料の支払い情報が記載された帳票が出力できるようになる。 ※【入学志願票（サンプル）】が出力可能な時点では第1次選考検定料の支払い手続きが完了していないため、出願期日までにかならず第1次選考検定料の支払い情報が表示されている【入学志願票】を出力・保存し、出願手続きが完了したことを自身で確認すること。

高等学校に相当する学校の卒業（見込）証明書 又は修了（見込）証明書等	出身学校長が作成した高等学校（日本の高等学校に相当する課程）の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書の原本のスクランデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。 （注 1）最終合格者は入学手続き時に原本を提出すること。 （注 2）これらの証明書が英語以外の外国語で作成されたものである場合、その全文の和訳もしくは英訳を添付すること。 （注 3）外国の高等学校卒業程度認定試験の合格者は、「認定試験の合格通知」及び「認定試験のスコア」を提出すること。 （注 4）外国の高等学校卒業程度認定試験の合格者で、高等学校に在籍していた期間がある場合は、「在籍期間証明書」及び「在籍期間中の成績証明書」を提出すること。書類の用意が困難な場合は、事前に本学入試課に相談すること。 （注 5）本項目に該当する書類が複数枚にわたる場合、スクランデータは 1 つの PDF ファイルにまとめた上で Web 出願専用サイトにアップロードすること。
高等学校に相当する学校の成績証明書等	各学年の成績が明記された原本のスクランデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。 提出に際しては、上記「高等学校に相当する学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書等」の（注 1）～（注 5）の取扱いに準ずること。
★学習教育歴表	本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、小・中・高等学校に該当する教育歴を記入すること。 その際、ページ設定（A4）・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。作成後は PDF 形式で保存し、Web 出願専用サイトにアップロードすること。
★大学入学志望理由書 （学部別）	本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、ページ設定（A4）・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。作成後は PDF 形式で保存し、Web 出願専用サイトにアップロードすること。 ※記載内容は志望学部により異なるため、本要項 15 ページの指示に従うこと。
★活動報告書 （学部別）	本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、ページ設定（A4）・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。作成後は PDF 形式で保存し、Web 出願専用サイトにアップロードすること。活動報告書にかかる成果物がある場合、各ページ A4 サイズの PDF ファイルにまとめ、活動報告書と併せて Web 出願専用サイトにアップロードすること。 ※記載内容は志望学部により異なる。本要項 15 ページ以降の指示に従うこと。
英語 4 技能の資格・ 検定試験スコア	英語 4 技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W のいずれか 1 つのスコアの原本を提出すること。 【スコアの提出方法について】 原則、試験実施機関から本学へ直送するよう手配すること。なお、試験実施機関から本学への直送に期間を要することがあるため、注意すること。 あわせて、言語検定試験証明書のコピー又は試験実施機関のホームページから出力したものや表示画面のスクリーンショットなどを PDF ファイルに変換した上で Web 出願専用サイトにアップロードすること。 〔送付先〕 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学入試課入学試験係

	〔補足事項〕 ・IELTS の Test Report Form は、試験を受験した各テストセンターから本学へ直送手配すること。なお、オンラインによるスコア提出が可能な場合は、直送に代えて、試験実施機関を通じてオンラインで提出することができる。 ・TOEFL iBT の Official Score Report は、試験実施機関である ETS (Educational Testing Service) から本学へ直送手配すること。なお、オンラインによるスコア提出が可能な場合は、直送に代えて、試験実施機関を通じてオンラインで提出することができる。本学の ETS 登録コード (Designated Institution Code) は「3059」。なお、Department Code の指定はないため、任意のものを1つ選択すること。 ・TOEIC Tests の Official Score Certificate は、試験実施機関である（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会から本学へ直送手配すること。詳細は、下記の公式サイトから確認すること。なお、海外で TOEIC Tests を受験した場合は、当該国の試験実施機関に直接問い合わせること。 <TOEIC 公式サイト「公式認定証直送制度のご案内」> https://www.iibc-global.org/toeic/test/lr/guide04/score.html ・上記の方法で提出することが困難な者は、事前に本学入試課まで相談すること。
日本留学試験受験票	日本学生支援機構が実施する 2025 年（令和 7 年）6 月、11 月又は 2026 年（令和 8 年）6 月の日本留学試験（日本語及び総合科目）の受験票のスキャンデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。なお、成績通知書や成績確認書の提出は受け付けない。 上記のうち、複数回受験した場合は、いずれか 1 つの回を各自で選択し、その受験票のスキャンデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。
国家試験等の統一試験成績評価証明書 (該当者のみ提出)	国家試験等の統一試験のある国では、その統一試験を受験していることが望ましい。既に受験している場合は、成績評価証明書の原本のスキャンデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。 また、出願後に受験する場合は、証明書が得られ次第、本学入試課に送付すること。この場合は、受験予定であることが分かる書類（任意）を、他の出願書類と合わせて Web 出願専用サイトにアップロードすること。 なお、提出に際しては、本要項 9 頁「高等学校に相当する学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書等」の（注 1）～（注 6）の取扱いに準ずること。
検 定 料 (17,000 円)	支払いは第 1 次選考及び第 2 次選考の都度行うこと。 【第 1 次選考の検定料及び支払方法】 検 定 料：4,000 円 支払方法：Web 出願専用サイトにおいて検定料の支払い手続きを進め、支払うこと。 【第 2 次選考の検定料及び支払方法】 2026 年 11 月 20 日（金）の第 1 次選考合格者発表後、合格者に対して Web 出願専用サイトのマイページを通じて詳細を案内する。 検 定 料：13,000 円 支払期限：2026 年（令和 8 年）11 月 25 日（水）16:00 支払方法：Web 上でのクレジットカード支払いと日本国内のコンビニエンスストアでの支払いを利用することができる。 （注 1）検定料の支払いの際に、別途手数料（出願者負担）が必要となる。 （注 2）必ず出願者の氏名で支払うこと。
パスポート／在留カード	日本国外から出願する場合は、本人のパスポートのスキャンデータ（顔写真の頁）を Web 出願専用サイトにアップロードすること。 日本国内に在住している場合は、在留カード又は市区町村役所で発行された住民票、在留カードが交付されない在留資格の場合は在留資格の証明になる書類のスキャンデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。
入学資格審査結果の通知 (該当者のみ)	本要項 6 頁の基礎資格(4)で出願しようとする者は、入学資格審査結果の通知のスキャンデータを Web 出願専用サイトにアップロードすること。

3. 留意事項

- (1) 出願資格について疑問のある場合は、出願書類提出前に本学入試課に相談すること。
- (2) 本学又は他の国公立大学・学部一般選抜に併願することは差し支えない。
- (3) 私費外国人留学生選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「学校推薦型選抜」、「帰国生等特別推薦選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。
- (4) 出願後における志願先（学部・学科、専攻言語、専攻地域）の変更には一切応じない。
- (5) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあるので、十分注意すること。
- (6) 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。
- (7) 出願受付後は、いかなる理由があっても、既納の検定料は返還しない。
- (8) 提出書類に偽りの記載又は隠した事実があったとき、また不正行為をおこなったときは、入学後であっても入学を取り消すことがある。通信機能のある電子機器類（スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス、小型イヤホン等）は試験時間中に使用することはできない。これらを使用した場合は不正行為とみなすことがある。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止し、退室を命じる。また当該年度に本学が実施する全ての入学者選抜において、成績を無効とする。既納の検定料および入学料は返還しない。また、特に悪質な不正行為については、警察に被害届を提出する場合がある。

VI. 受験票

出願書類が不備なく受理された者に対し、本学から Web 出願専用サイトに登録されたメールアドレス宛に、2026 年（令和 8 年）10 月 22 日（木）までに受験票発行の通知を送る。

もし 2026 年（令和 8 年）10 月 27 日（火）までにメールが届かないときは、10 月 28 日（水）に本学入試課に問い合わせること。

受験票は、入学者選抜及び入学手続の際に必要なとなるので、紛失しないように注意すること。

VII. 選抜方法

第1次選考（書類選考）及び第2次選考（小論文及び面接）により、総合して評価する。

1. 第1次選考（書類選考）

成績証明書、活動報告書、国家試験等の統一試験成績評価証明書（該当者のみ）、日本留学試験成績、大学入学志望理由書、英語4技能の資格・検定試験のスコア等の出願書類により行う。

2. 第2次選考（小論文及び面接）

第1次選考合格者に対し、小論文及び面接により行う。

(1) 第2次選考 試験内容

①小論文

学部	実施方法	試験時間
言語文化	その場で与えられた課題について小論文を課す。	9:30～11:00 (90分)
国際社会	あらかじめ指定された課題図書に基づく小論文を課す。 課題図書：『ピラヴド』 (ハヤカワ epi 文庫、ISBN：4151200576、トニ・モリスン著、吉田廸子訳、2009 年) (注 1) 受験者は課題図書をあらかじめ精読していること。なお、解答に際しては自分が引用した箇所のパージ明記が求められる場合もあるため、当該の課題図書を持参すること。(持参した本の中に傍線や多少のメモ書きを記していても構わない) (注 2) 試験問題は日本語で出題される。解答も日本語で行うこと。	

②面接

学部	実施方法	試験時間
言語文化	志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課	11:30～
国際社会	外活動・社会活動等に関し、質疑応答を行う。	

(注1) 面接の時間は別途指定する。

(2) 第2次選考 実施期日・試験場

学部	実施期日	試験場
言語文化	2026 年（令和 8 年）11 月 28 日（土）	東京外国語大学 （東京都府中市朝日町 3-11-1）
国際社会	2026 年（令和 8 年）11 月 29 日（日）	

※Web出願専用サイトからダウンロード・印刷（A4サイズ、白黒可）した受験票を持参すること。

※第2次選考実施期日当日の注意事項や面接の詳細な時間等については、Web出願専用サイトのマイページを通じて2026年11月20日（金）に案内する。

VIII. 合格者発表

1. 第1次選考合格者発表

2026年（令和8年）11月20日（金）午前10時 本学ホームページに第1次選考合格者受験番号一覧を掲載する。なお、合否に関する電話等による照会には、一切応じない。

掲載ページ：<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/intl-students-1.html>

2. 第2次選考合格者発表

2026年（令和8年）12月16日（水）午前10時 本学ホームページに第2次選考合格者受験番号一覧を掲載する。なお、合否に関する電話等による照会には、一切応じない。

掲載ページ：<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/intl-students-1.html>

最終合格者には、発表当日、「合格通知書」及び入学手続書類を、Web 出願専用サイトのマイページを通じて発行する。

IX. 入学手続等

合格者は、所定の期日までに入学手続を行うこと。手続の詳細については、第2次選考合格者発表の際に Web 出願専用サイトのマイページを通じて通知する。また合格者に対して発行する合格通知書も Web 出願専用サイトのマイページよりダウンロードすることができる。

なお、入学手続の際、本学受験票が必要になるので、紛失しないよう注意すること。

1. 手続期日

2027年（令和9年）2月1日（月）16時まで

Web 出願専用サイトでの入学手続情報の入力および入学料等納付金の支払い手続きを行った上で各種必要書類を一括して郵送すること（持参による提出は受け付けない）。2月1日（月）16時までに本学必着のこと。

2. 納付金

入学料：282,000 円

英語外部試験受験経費：15,855 円

なお、授業料は前半期分 267,900 円を5月中に、後半期分 267,900 円を10月中に徴収する。

（注1）入学時又は在学中に授業料・英語外部試験受験経費の改定が行われた場合は、新授業料・英語外部試験受験経費を適用する。

（注2）支払われた入学料は、原則返金しない。

（注3）入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

3. 留意事項

（1）合格者が2027年（令和9年）2月1日（月）までに入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱う。

（2）入学手続完了者が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定様式）を2027年（令和9年）3月23日（火）までに本学入試課へ提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので早めに届け出ること。

X. 障害等のある志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上合理的な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となった者は、電話等で相談すること。

- (1) 受付期日：2026年（令和8年）8月31日（月）まで
- (2) 相談方法：以下の所定様式に必要事項を記入し、同封書類⑧⑨とともに、（簡易）書留郵便により郵送又は直接窓口へ持参すること。なお、本学が必要と判断する場合は、本学において志願者又は関係者等と面談を行うことがある。

[所定様式] <https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/hairyo.docx>

[記載事項] ①志願者氏名、年齢、性別 ②連絡先（住所・電話番号・Email）

③出身学校、卒業又は修了（見込）年月 ④試験区分、志願学部、募集単位

⑤障害の種類、程度 ⑥受験上希望する措置 ⑦修学上希望する措置

[同封書類] ⑧添付書類（医師の診断書（原本）、障害者手帳等（写）等）

⑨レターパックライト（本学から審査結果を送付する際に使用する）

（注1）レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。

（注2）申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。
日本国外在住の志願者は、日本国内の代理人の宛先を記入し、空いている部分に志願者本人の氏名を括弧書きすること。

（注3）「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

XI. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号、入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。

- (1) 出願時に提供された個人情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続業務に利用する。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されない形で、今後の大学教育及び入学者選抜の改善のための検討資料として用いることがある。
- (3) 入学者の個人情報は、教務関係（学籍簿の作成、英語学習支援等）、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。
- (4) 上記各種業務での個人情報の利用にあたって、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者（以下「受託業者」という）に委託することがある。その場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、本学が保有する志願者の個人情報の全部又は一部を提供することがある。

XII. 出願書類記入上の注意

1. 大学入学志望理由書・活動報告書の作成について

本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、ページ設定（A4）・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。作成後は PDF 形式で保存し、Web 出願専用サイトに他の出願書類と同時にアップロードすること。

各学部で指定する記載事項や字数制限が異なるため、本項直下の「4. 大学入学志望理由書・活動報告書の作成に関する各学部の指定事項一覧」に記載されている志望学部の指示を確認し、作成すること。

2. Web 出願専用サイトでの入力について

Web 出願専用サイトでの入力・選択にあたっては、サイト上の案内画面および事前に本学ホームページ等に掲載する「入力例」に従い、誤りのないよう正確に入力すること。

3. 内容の訂正・差し替え不可について

Web 出願専用サイトでのデータ送信後、およびアップロードされた PDF ファイル（大学入学志望理由書・活動報告書等）の送信後における内容の修正・差し替えは一切認めない。必ず送信・保存前に十分な確認を行うこと。

4. 大学入学志望理由書・活動報告書の作成に関する各学部の指定事項一覧

大学入学志望理由書および活動報告書の様式は、以下よりダウンロードすることができる。

<https://www.tufts.ac.jp/admission/exam/guideline/intl-students-1.html>

各学部が定める大学入学志望理由書及び活動報告書の記載事項等については以下の通り。

■ 言語文化学部

【大学入学志望理由書】

①東京外国語大学を志望する理由、②他学部との違いをふまえた上で言語文化学部を志望する理由、③該当する専攻言語を志望する理由、④大学入学以降の具体的な学びのイメージについて、それぞれ述べてください。分量は 1,200 字程度とします。

【活動報告書】

これまでの活動を、以下の項目についてそれぞれ述べてください。①は必須ですが、②～⑥に関しては該当しないものについては言及しなくてもかまいません。分量は 2,000 字程度とします。

なお、成果物がある場合は、その成果がわかるような資料をアップロードしてください。成果物が造形物や動画等の場合は、写真（静止画）に収め、各ページが A4 サイズの PDF ファイルにまとめ、内容がわかるようにしてアップロードしてください。これは、2,000 字の字数制限外とします。

① 語学に関する取り組み

海外体験などのほか、スピーチ・コンテスト、ディベート・コンテストおよび模擬国連等に参加した経験がある場合はこれに含めてください。英語以外の語学を学んだ経験がある場合は、必ずそれに言及し、また、英語以外の語学の検定などの資格を有する場合は、その書類のコピーも添付してください。

② 部活動

活動期間および内容について。特筆すべき成績等があればそれも記してください。

③ 生徒会活動

活動期間および内容について。

④ ボランティア活動

活動期間および内容について。

⑤ 探究的学習

その内容について。成果物も添付してください。

⑥ その他の活動

上記①～⑤に含まれないものについて。その内容に応じて成果がわかる資料を添付してください。

■ 国際社会学部

【大学入学志望理由書】

国際社会学部を志望する具体的理由（国際的な課題に対する関心、志願地域を選択した理由を含む）、学業への抱負、将来の目標などを、これまで取り組んできた学習や活動を踏まえて、2,000 字程度の日本語で記入してください。

【活動報告書】

これまで行った活動のうち、以下の①について記入してください。②に関しては、該当する成果がある場合は記入してください。分量は全体で 2,000 字程度とします。

なお、成果物がある場合は、その成果がわかるような資料をアップロードしてください。成果物が造形物や動画等の場合は、写真（静止画）に収め、各ページが A4 サイズの PDF ファイルにまとめ、内容がわかるようにしてアップロードしてください。これは、2,000 字の字数制限外とします。

① 国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組んだ経験について、それを行った時期や期間、目的や具体的内容、活動により得た成果を記してください。

② その他の活動（部活動、生徒会活動、ボランティア活動、探究的学習の成果など）について、活動期間及び内容を記してください。

問 い 合 わ せ 先

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 TEL 042-330-5179

受付時間（窓口・電話）

月曜日から金曜日 9:00～12:00, 13:00～17:00（祝日及び夏季休業期間を除く）

※問い合わせについては、原則として**志願者本人**が行うこと。